

立東舎文庫第三弾!

昭和ルネッサンス。隠れた名著を発掘してお届けします



3月18日発売

定価：(本体800円+税)
仕様：A6判/288ページ(予)
著者：松本隆
ISBN978-4-8456-2781-3



3月18日発売

定価：(本体800円+税)
仕様：A6判/224ページ(予)
著者：仲井戸麗市
ISBN978-4-8456-2782-0

立東舎刻印入り
高級ブックカバー
プレゼントキャンペーン
2016年1月20日~4月30日

風のくわるてつと

著者：松本隆

ロックの感受性

著者：仲井戸麗市

松本隆の、第一エッセイ集

伝説のバンドはついでにの在籍時に、松本隆が認めた詞、エッセイと短編小説を取めた作品。齢わずか19~22歳の青年が残したこれらのテキストが、発表後40年以上経っても色褪せず、ますます魅力を増しているのは驚くべきことだと言えるでしょう。70年代の空気を伝えるだけではなく、「ほんとは誰の心の中にも存在している」風街という幻の土地へのガイドブックになっているのが、その大きな理由かもしれません。もちろん、それを支えるのは著者ならではの特異な言葉の扱い方。ぜひ熱いお茶(または珈琲)を飲みながら、風街の風景を堪能してください。

※この作品は、1972年にプロンズ社から刊行され、1985年に新潮文庫に、2001年に角川文庫に収録されたものです。

CONTENTS

- 一ノ絃 見えないまなざしから
- 二ノ絃 夢紡(つむぎ)
- 三ノ絃 優しい夏
- 四ノ絃 風蝕(ふうしょく)の日
- 新潮社文庫版解説 萩尾望都
- 「風のくわるてつと」とその時代 対談：鈴木慶一 × 松本隆

チャボの精神的/音楽的なルーツを巡るエッセイと旅行記

切なさと懐かしさといった自伝的なエッセイと、ブルースを探し求めたアメリカ探訪記。つまりは、仲井戸“CHABO”麗市の精神的なルーツと音楽的なルーツの双方を巡るテキストが、本書の中心となっています。ビートルズ(来日公演)、ジャズ喫茶、古井戸、悪野清志郎といった音楽的なトピックの後ろに見え隠れする、60年代、新宿、昭和の日々。そしてブルース発祥の地ミシシッピ・デルタ地帯からシカゴまでを、ロバート・ジョンソン、チャーリー・パットン、ベッシー・スミス、マディ・ウォーターズらの足跡を辿った旅日記は、仲井戸麗市の感受性がいかに育まれてきたかを静かに物語っています。さらに最終章では、50歳の時点での想いを赤裸々に吐露。年齢というテーマが、本書を通じて流れていることに気付かされます。

※この作品は、2002年に平凡社新書で刊行されたものです。

CONTENTS

- ビートルズから始まった 新宿・60年代・音楽
- ロックの感受性 ある日の雑記帳
- ブルースを探して アメリカ南部の旅日記'93
- そして旅はつづく キープ・オン・ロックン ■立東舎文庫版あとがき

新刊指定メー切 3月8日(火)

貴店印	ご担当者名	タイトル	ご注文数
		新刊書籍 (立東舎文庫) 風のくわるてつと ●定価：(本体800円+税) ISBN978-4-8456-2781-3	冊
		新刊書籍 (立東舎文庫) ロックの感受性 ●定価：(本体800円+税) ISBN978-4-8456-2782-0	冊
		 立東舎販売用ケースございます 希望する→ <input checked="" type="checkbox"/>	